

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

平成 27 年度事業報告書

I. 事業の概要

薬学教育 6 年制が平成 18 年度に導入されて以来今日まで薬剤師養成教育が行われる中、平成 25 年度においては薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂が行われ、平成 27 年度から新コアカリキュラムに基づく薬学教育が開始された。

この間、教育内容、実務実習、薬学共用試験及び薬学教育第三者評価の実施等様々な課題について、日本私立薬科大学協会（以下「協会」という。）理事会、総会及び各種委員会を中心に検討を行うと共に、全国薬科大学長・薬学部長会議及び新薬剤師養成問題懇談会（新六者懇）等が行う調査等に協力した。

個々の事業内容については次のとおりである。

1. 教育、研究に関する調査研究

(1) 教育、研究体制等の整備について

薬学教育 6 年制に関する諸問題（実務実習、実務実習費等）について調査・検討を行った。

また、全国薬科大学長・薬学部長会議、薬学教育協議会、薬学共用試験センター、薬学教育評価機構等における実務実習、薬学共用試験及び薬学教育第三者評価の調査等に協力した。

(2) 実務実習について

本年度は 6 回目となる実務実習の実施となった。また、実務実習に関する諸問題について検討を行うと共に、協会としての課題等について検討を行った。

特に、平成 31 年度から開始される新たな実務実習に向けて、各大学の取り組み状況等をアンケート調査し、協会としてまとめ、「第 6 回薬学実務実習に関する連絡会議」へ報告した。

このほか平成 26 年度に実施した実務実習を踏まえ、実施体制、実施時期、及び実務実習内容等に係る諸問題の改善に向けて、加盟大学に実務実習実態調査を行い、その結果を踏まえ薬学教育協議会で検討することとなった。

(3) 薬学共用試験について

本年度は7回目となる共用試験の実施となった。

また、薬学共用試験(CBT、OSCE)の実施状況及び薬学共用試験の問題・課題等について報告を受け、協会として検討し了承した。

(4) 薬学教育第三者評価について

薬学教育評価機構の活動状況、平成27年度評価対象11大学の評価実施、平成29年度評価対象大学の決定等について報告を受け、協会として検討し了承した。

(5) 薬剤師国家試験問題の検討について

平成27年3月に実施された第100回薬剤師国家試験を受けて、当協会の検討7部会(「物理・化学・生物」、「衛生」、「薬理」、「薬剤」、「病態・薬物治療」、「法規・制度・倫理」、「実務」)における検討結果を踏まえ、薬剤師国家試験問題検討委員会において調査検討を行い、協会会長名で報告書を厚生労働省へ提出した。(平成27年7月15日付)

また、その後開催された厚生労働省医道審議会薬剤師分科会「薬剤師国家試験事後評価部会」において、当協会薬剤師国家試験問題検討委員会の中から2名の推薦を受け、同事後評価部会(7月30日開催)において参考人として意見を述べた。

2. 協会の管理運営等

(1) 平成26年度事業報告、決算・監査報告について

平成26年度事業報告及び決算・監査報告については、平成27年6月2日開催の第1回通常総会で承認された。

(2) 平成28年度事業計画、収支予算について

平成28年度事業計画及び収支予算については、平成27年11月24日開催の第2回通常総会において承認された。

(3) 教育賞の授与について

毎年度、薬学教育に多大な貢献をし、薬学教育の進歩発展に特に功績のあった者に対し、日本私立薬科大学協会教育賞を授与しているが、本年度は2名を選考し、教育賞を授与した。

(4) 学生の入学定員及び入学者数の取扱いについて

今後の学生入学定員の遵守について協議した結果、昨年同様、「入学定員と入学者数が等しくなるよう、厳正な定員管理を徹底する」ことを申し合わせた。

また、入学者数が入学定員の1.1倍以上の大学については、入学定員超過の理由及び今後の対応等について協会宛に文書が提出された。

(5) 各種調査資料の作成について

学生・教職員数、学生納付金、入学志願者の動向及び卒業生の就職状況等を調査し、協会及び各大学の検討・参考資料とした。

(6) 会報（協会だより）の刊行について

事業活動状況（諸会議議事録、各種調査結果等）、事業計画・報告、収支予算・決算及び大学紹介等の内容を掲載し、年2回各大学へ配布した。

(7) 広報活動について

各大学の入試状況を調査し、入試案内（冊子）を作成して全国の高校及び予備校等へ配布した。

また、6年制薬学教育への理解及び普及を図るため、昨年度に引き続き「6年制薬学ガイド2016」を刊行し、全国の高校及び予備校へ配布すると共に、関係団体等にも送付した。

なお、入試案内については、これを廃止し平成27年度限りとすることが了承された。

3. 薬剤師の生涯教育

各大学における卒後研修の実態を調査し、調査結果を各大学へ配布した。

4. その他

(1) 公益目的支出計画の実施完了について

平成 27 年 8 月 24 日付、内閣府から協会会長宛、公益目的支出計画の実施が平成 27 年 3 月 31 日に完了した旨の確認書を送付された。

[参 考]

(講演会)

- ・平成 27 年 11 月 24 日 (火) ～ 厚生労働省医薬生活・衛生局総務課課長補佐
紀平 哲也氏による講演
「薬剤師が社会のニーズに応えるために」

(文部科学省等会議開催)

- ・第 15 回新薬剤師養成問題懇談会 (新六者懇) が開催 (平成 27 年 9 月 4 日) され、
6 年制薬学教育及び 6 年制薬学部卒業生の質の確保等について協議が行われた。
- ・文部科学省、厚生労働省及び関係団体等で構成する「第 6 回薬学実務実習に関する連絡会議」(平成 28 年 2 月 29 日開催)において、平成 31 年度から実施する
薬学実務実習の各団体における取組状況の報告及び今後の取り組み等について
協議が行われた。

(「日本薬学教育学会」の設立準備)

- ・第 1 回日本薬学教育学会大会を平成 28 年 8 月 27・28 日の両日、京都薬科大学で
開催することが決定した。
- ・第 1 回大会に向けて、新たに「世話人会」の設置が認められ、世話人候補者によ
る準備が進められることとなった。

Ⅱ. 諸会議開催状況

会議名	開催月日		開催場所
(理事会)			
第24回 理事会	27. 5. 12	(火)	アルカディア市ヶ谷
第25回 理事会	27. 6. 2	(火)	〃
第26回 理事会	27. 7. 7	(火)	〃
第27回 理事会	27. 9. 29	(火)	〃
第28回 理事会	27. 11.10	(火)	〃
第29回 理事会	27. 11.24	(火)	〃
第30回 理事会	28. 3. 1	(火)	〃
(総会)			
平成27年度第1回 通常総会	27. 6. 2	(火)	アルカディア市ヶ谷
平成27年度第2回 通常総会	27. 11.24	(火)	〃

Ⅲ. 各種委員会開催状況

委員会名	開催月日等		開催場所
部局長会議			
第34回事務局長会議	27.7.17	(金)	神戸ポートピアホテル
第35回学生部長会議	27.11.27	(金)	京都センチュリーホテル
第35回教務部長会議	27.12.11	(金)	ホテルメルパルク岡山
薬剤師国家試験問題検討委員会			
薬理部会	27.5.9	(土)	名城大学名駅サテライト
病態・薬物治療部会	27.5.9	(土)	帝京大学板橋キャンパス
法規・制度・倫理部会	27.5.9	(土)	横浜薬科大学
実務部会	27.5.16	(土)	長崎国際大学薬学部
物理・化学・生物部会	27.5.23	(土)	愛知学院大学薬学部
衛生部会	27.5.23	(土)	アルカディア市ヶ谷
薬剤部会	27.5.30	(土)	ポールスター札幌
第1回薬剤師国家試験問題検討委員会	27.6.12	(金)	アルカディア市ヶ谷
教育賞受賞者選考委員会			
第1回受賞者選考委員会	27.7.7	(火)	アルカディア市ヶ谷
第2回受賞者選考委員会	27.11.10	(火)	アルカディア市ヶ谷
広報誌編集委員会			
第1回編集委員会	27.10.30	(金)	薬科大学協会事務局
第2回編集委員会	27.12.8	(金)	〃
第3回編集委員会	28.1.18	(月)	〃
第4回編集委員会	28.3.11	(金)	〃
実務実習検討委員会			
第1回検討委員会	27.9.29	(火)	アルカディア市ヶ谷
実務実習費に関する検討会	28.1.18	(月)	薬科大学協会事務局

IV. 調査実施項目（調査対象：薬科大学・薬学部）

1. 平成 26 年度 卒後教育実施状況調
2. 平成 26 年度 卒業生進路調（平成 27 年 3 月卒業生）
3. 平成 26 年度 大学院修了者進路調（平成 27 年 3 月修了者）
4. 平成 26 年度 実務実習実態調査
5. 平成 27 年度 入学志願者動向調（志願者、合格者、入学者、併願校等）
6. 平成 27 年度 入学志願者調
7. 平成 27 年度 大学院入学志願者調
8. 平成 27 年度 入学定員及び入学者数調
9. 平成 27 年度 学生数調（学部学生・大学院生）（平成 27 年 5 月 1 日現在）
10. 平成 27 年度 専任教員及び職員数調（平成 27 年 5 月 1 日現在）
11. 平成 27 年度 在学生（3 年生）出身校都道府県別調（平成 27 年 6 月 1 日現在）
12. 平成 27 年度 学生納付金調
13. 平成 27 年度 大学院生納付金調